

委員会報告



親睦ロータリー家族委員会／小金澤和夫会員
感謝ディナー会について

社会奉仕・青少年奉仕委員会／相原聡会員
9月11日（火）例会終了後、委員会を行います。

カラオケ同好会／長谷川衛会員
今年度 第1回目カラオケ会を9月18日（火）18：30～21：30行います。



SAA司会
富岡弘文会員



三浦高義S・L



出席報告
松川健治委員



米山奨学生
グエン タン タム君

今後の情報

日付	時間	回数	プログラム内容
9月18日			取止め例会（祝日週）＊9/17敬老の日
9月25日	12:30	2647	第2回クラブ協議会「ガバナー公式訪問に備えて」
10月2日	12:30	2648	ガバナー公式訪問、例会後脇ガバナーと懇談会
10月9日			取止め例会（祝日週）＊10/8体育の日

例会日	会員数	出席	出席%	欠席	欠席者名	
8月28日	30(8)	前々回	24	88.89	3	石高・森川・田辺
9月4日	30(8)	前回	25	89.29	3	本田・戸張・田辺
9月11日	30(8)	本日				

大和ロータリークラブ 週報

Yamato Rotary Club Weekly

<http://www.yamato-rc.org>



【大和ロータリークラブ活動方針：素晴らしい奉仕を思いやる心と触れ合いで生かそう】

例会場 / 北京飯店 4F : 会長 / 古川 毅 幹事 / 花岡 正
例会日 / 毎週火曜日12時30分～13時30分 : 会長エレクト / 伊藤 彦二 副幹事 / 松川 健治

第2645回 2018年9月4日（火）

司会 / 富岡 弘文 会員 S. L. / 三浦 高義 会員
斉唱 / 「君が代」「我等の生業」
ゲスト / 米山奨学生 グエン タン タムさん
ビクター /

会長の時間

「今月は『機関紙ロータリーの友』の月間」



会員の皆さん9月は『機関誌（ロータリーの友）』の月間です。
ロータリーの三大義務は『会費支払』『例会出席』『機関誌（ロータリーの友）』の購読です。資料によると、ロータリーの友は1953年1月に『ロータリーの友』が創刊されたそうです。1979年7月から1年間の試験期間を経て1980年7月から『ロータリーの友』は国際ロータリーの地域雑誌になったそうです。他の外国では『ロータリーの友』は無いそうです。当時「主婦の友」と言う雑誌があってそれをまねて『ロータリーの友』と名前が付けられたとされています。

ロータリアンはその地域で国際ロータリーから指定されているロータリー雑誌（日本の場合は「ロータリーの友」）(The Rotarian)を購読するように義務づけています。ロータリーの地域雑誌『ロータリーの友』には守らなければならない幾つかの規則があります。その一つは、7月号の表紙に国際ロータリー会長の顔写真を掲載することが義務づけられています。そしてつぎの「号」からは世界各国に地域雑誌があるのですが、自由に表紙を決めているそうです。

『ロータリーの友』は『The Rotarian』の記事の中から指定された記事を転載する義務もあるそうです。また日本のロータリアン同士の情報や懸け橋となる記事なども掲載しています。

今日は、公共イメージ・雑誌委員会による《読んでいますか？ ロータリーの友》のテーマによる会員卓話が行われます。楽しみにしています。

幹事報告

幹事報告

- ・海老名RC 会員 吉岡謙一さんのお父様が亡くなりました。9/5(水)18:00 通夜 9/6(木)9:30～11:00 告別式 海老名 葵会館
- ・10/20(土)チャーターナイトへ出席される方は、会費1万円を集めます。
- ・9月ロータリーレート 112円
- ・会費の納入をお願いします。

ポスティング：・次第 ・週報 ・感謝ディナーのご案内 ・第3回理事会議事録
・9月度プログラム

回覧：

- ・the rotarian
- ・赤い羽根共同募金の協力のお願い



本日の卓話

「読んでますか？ロータリーの友」

公共イメージ・雑誌委員会 委員長 森川良三



そもそも「ロータリーの友」は、「読んでますか？」と聞くものではなく、ロータリアンの義務の一つですから、読んでいて当然なわけでありまして。

でも、私自身も、先日までは読んでいませんでした。義務違反です。では「ロータリーの友」を、なぜ読むのか、なぜ読まないのか？を考えてみたいと思います。それは「内容が健全すぎる、ドラマ性が少ない」ことも要因ではないでしょうか。どちらかという、悪いことが書いてあるほうが面白いのです。

なぜかイヤなニュースばかりに興味をもってしまうものです。

だからこそ、「ロータリーの友」に意味があります。

世の中、いいこと、いいニュースばかりであれば、いいことは書く必要がないのです。悪いこと、悪いニュースが残念ながら世の中にあふれているからこそ、「ロータリーの友」を読む意義がより深まるのではないのでしょうか。私も、いいこと、いいニュースにもっと興味を持つべきでは、と考えるようになりました。

ところで、毎月「ロータリーの友」を読んでいる方はどのくらいいらっしゃいますか？（半数以上が挙手）みなさん素晴らしいです。今月の「ロータリーの友」の8-9ページをご覧ください。

【食料を届け、「貧困の連鎖」を断ち切る】というタイトルで事例が載っています。
食品ロスについて、考えさせられる内容です。これを読み、私の経験を思い出しました。鉄鋼の買い付けに、東南アジアを回った時のことです。ガリガリの子供が寄ってきて、手を出すんです。20ペソ出しました。ところがその子は無表情で何も言わずに立ち去ってしまいました。ありがたいもなし、ニコリともしないのです。

そのような現実の一方で、たとえば我が家では、コストコのパンが冷蔵庫の中で傷んでいるのです。我々、毎日の喜怒哀楽うんぬんを云う前に、今日食べることに精一杯でこういう状態にまで追い込まれている人たちが世界に果たしてどれくらいいるか、ということです。ロータリーの友を読み、健全ないいこと、いいニュースにあえて触れ、普段はそうでなくとも、せめてロータリアンとして集まる時はいい人であればいいのではないか。そのように思いました。

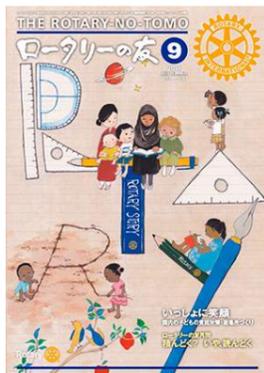
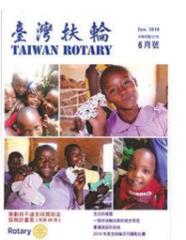
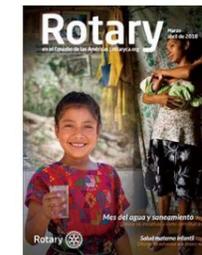
私は出版の仕事もしていたので、この雑誌を作るのにどれだけ大変か、理解できます。「ロータリーの友」を作ってくださいの方々、本当にお疲れ様です。感謝致します。



スマイルBOX 本日¥20,000 累計¥146,700

小金澤スマイルBOX委員

- ◆**会長 古川毅会員**／皆さん元気ですか。今日のお客様は、グエン タン タムさんです。ようこそいらっしゃいました。猛烈な台風が西日本地方に上陸します。関東地方にも影響があるそうです。備えましょう。今日の卓話は、公共イメージ・雑誌委員会による「読んでいますか？ロータリーの友」です。楽しみにしております。
- ◆**眞鍋藤正会員**／9月1日 11時33分 二人目の曾孫（男子3150g）誕生！これで、我が家族は、15人。「全国まなべ会」を創設した、父に面目がたちました。増さん、忘れ物ものを拙宅まで届けて下さって本当にありがとうございました。
- ◆**佐々木和夫会員**／7月、8月は、スマイルボックス報告、岡田委員長お疲れ様でした。今日からスムーズなスマイル報告になり安心して聞けますね。
- ◆**小金澤和夫会員**／2780地区のゴルフ大会が来週月曜日に行われます。クラブ別対抗で、大和クラブが優勝してきますので期待して下さい。
- ◆**古木通夫会員**／またまた、くちびるペロッチョ！
- ◆**武田茂会員**／前年度の決算報告の会計で、どうしても10,000円が余りました。スマイル致します。
- ◆**増正之会員**／8月28日（火）会員増強の第1回クラブフォーラム御協力ありがとうございました。会員候補の御紹介をよろしくお願い致します。
- ◆**石高誠一会員**／釣りは、夜のイカを考えていますが、台風ばかりで、中々、釣りに行けません。今、イカ釣りに行けば大漁です。
- ◆**森川良三会員**／初孫が生まれました。祝い事なのに、千円は少ないと岡田さんがグチュグチュ言っています。何とかして下さい。



●『ロータリーの友』は日本におけるロータリーの機関誌

『ロータリーの友』（以下『友』）は、国際ロータリー（R I）の認可を受け、Rotary World Magazine Press（『The Rotarian』とロータリー地域雑誌の総称）の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です（P2～3に掲載）。地域雑誌としての『友』は、ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブがR Iと直結していると実感するためにも必要な媒体です

●『ロータリーの友』はロータリーについての情報誌

世界や日本におけるロータリーの状況や活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるような編集、より身近でより親しまれる編集を心がけています。ロータリアン以外の方にお読みいただいてもロータリーのことをお分かりいただけるように編集していますが、基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。

●『ロータリーの友』はロータリアンの公開討論の場

『友』の縦組みのページにはロータリアンとしての意見や経験談、職業上の知識などを掲載して、ロータリアン同士が議論し、交流を図る「広場という空間」を提供します。この広場にはたくさんのロータリアンがやってきて話し合い、旧交を温め、新しい出会いを喜ぶ...そんなロータリアンたちが行き交うことのできる『友』をイメージしています。

*ロータリーの友ホームページより一部転載